

【児童への話】

先週7月7日は七夕でしたね。この日は小さい暑さと書いて「小暑（しょうしょ）」と言い、これから暑さが増してくる時期になります。6月の猛暑からひとまず落ち着きましたが、まだ今週も30℃前後の日が続きます。少し曇っていても、人は自然に体の水分を失っていきますので、学習や生活の区切りごとに水分補給をすることを忘れないでくださいね。

さて今日は、「体の不思議」についてお話しします。

校長先生は先週までに、すべての学年の水泳学習に参加して、一緒に泳ぎました。おかげで顔と腕と膝から下が真っ黒です。どんどん皮がむけてきた肩や腕を見ると、その下に新しい皮膚がすでにできていて、人間の体はいつも新しく作り替えられていることが分かります。

ではここでクイズです。人間の体の細胞がほぼすべて新しいものに作り替えられるまでに、およそどれくらいの時間がかかるでしょうか？3択ですよ。

- 1 1年間      2 6年間      3 10年間

正解は、「2 6年間」でした。もちろん、身体場所によってもその入れ替わりにかかる日数は違いますが、脳の神経細胞など特別な部分を除き、私たちの身体をつくっている細胞がすべて新しいものに入れ替わるのは、およそ6～7年かかると言われています。

ということは、オギャーと生まれた皆さんが、6歳で小学校1年生になる時には、生まれたときとはほぼ違う体のつくりになっていて、それから6年生になる頃にはまた別の体になっている、ということになります。今の皆さんは、6年前の自分とはほぼ別人だということです。静かに、自分の手を見てみてください。あなたの手は、皮膚から肉から骨から血液に至るまで、6年前の自分の手とはすっかり入れ替わっていて、今も新しい体に変わり続けているんです。体や命って、とても不思議でたくましいものですね。いよいよ来週の木曜日から、夏休みに入ります。暑さに気を付けながらも、規則正しい生活と運動を心がけ、心も体も健康に過ごせるようにしてください。今日は、「体の不思議」についてお話ししました。

【本講話について】

講話の通りに人の細胞がおよそ6年間ですべて入れ替わるとしたら、小学校入学、中学校入学、大学進学と成人（今年から18歳成人になりましたね）など、人生の節目となる時期に体そのものが変わっていくということになります。脳の神経細胞は変わらないので、記憶や感情は蓄積され、肉体は新しく生まれ変わっているという状態が自分の体の中で起こり続けているというのは、何だかとても不思議で興味深いことです。

小学校段階ですべきことは、子どもの知識や関心の引出しを増やすことです。そして、子ども自身が増えた引出しに新しい情報を入れ続けることで、今後の自分を成長させるために大切な資質・能力がどんどん増えていくこととなります。自分の夢を選べるくらいの力をもった子どもの土台を、大切に育てていきます。